

授業ノートの作り方・授業や宿題に関する心構え

1. 授業を受けるときに用意するもの（1教科あたり）

- **筆記用具**
- ノート最低2冊（解説ノート1冊、練習ノート1冊）

（ルーズリーフとフラットファイルなどのファイリングできるツールでもOK）
- スティックのり、または水のり（多めに必要です。大きいものがよいです。テープのりでもよいですが、コストがかかります。）

2. 授業資料の見方

授業にはA6サイズの授業資料を使います。授業資料の見方は次のとおりです。

★が解説用、●が練習用（左上）

テーマ

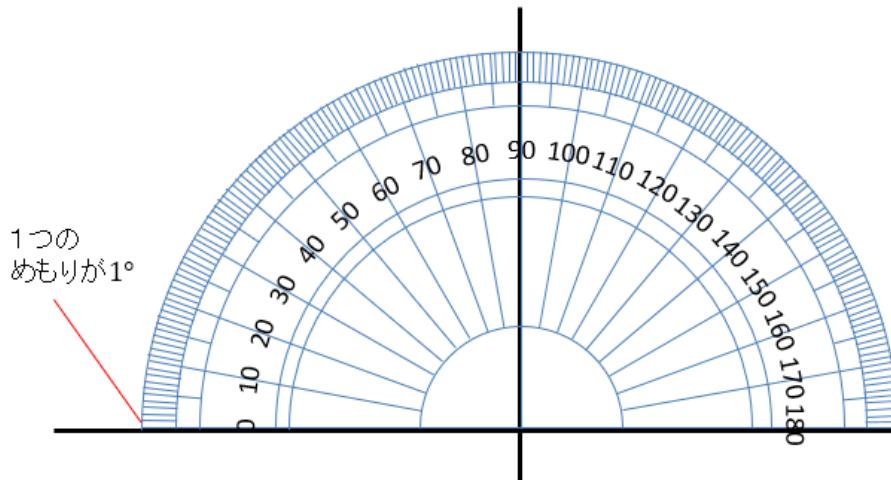
単元と単元番号（右上）

角度1

角度

直角を90等分した1つ分を1度といい、 1° と書きます。度は角の大きさを表す単位です。

角の大きさを**角度**ともいいます。



18

スライド番号（右下）

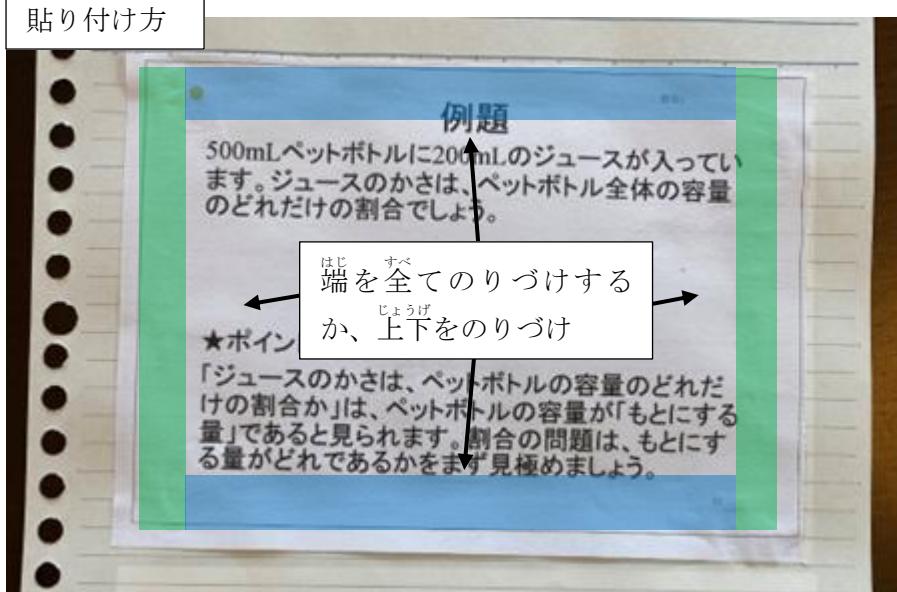
※パワーポイントのスライドの番号です。資料は解説用スライドと練習用スライドのみをお渡しします。ページはとびとびになっていますが、番号の小さい順に使っていて下さい。

3. ノートの使い方

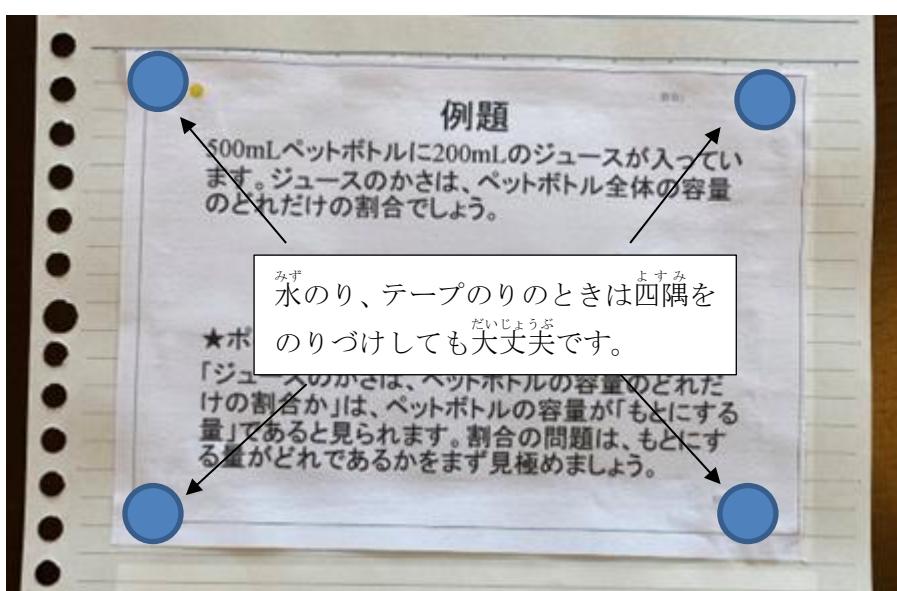
1つの教科に、2リングのバインダー（ペーパーファスナー・とじひもでも可）を1つ、ノートを1冊用意（ノートは予備にもう1冊持っているとよい）します。バインダーは解説用に、もう1冊は練習ノートとして使います。

また、練習用のノートは宿題用ノートとして一緒に使ってください。
のりは消耗が激しいので、予備を含めて多めに用意しておいてください。

貼り付け方



バインダーは
ペーパーファ
スナーなどで
も構いません。



4. 解説ノートの作り方

左上に「★」がついている資料は、解説資料です。解説は大事なことをまとめているので、「★」の資料は「★」だけでバインダーなどにまとめてください。

解説資料には、大事そうなところに蛍光ペンでアンダーラインを引いたりポイントとなりそうなことをメモ書きしたりして自分なりの解説ノートを作るとよいです。特に宿題や復習をするときには、このノートが役立つはずです。

解説資料は、先生の説明を一通り聞き終わって、メモなどをし終えてから2リングバインダーなどにとじてください。

宿題について

宿題については、復習して過去に習った内容も同時に出します。よって、次回から宿題量は増えます。点数が取れない例の多くは練習不足です。中学、高校までは練習量が物を言うので、宿題と言えども丁寧にこなしましょう。また、成績を上げてほしい高校に行けるように頑張りましょう。宿題に手を貸すことは間違ひ別の草稿にてやるべし

印刷日：2023/10/23

三角形の3つの角の和

三角形の3つの角の和は必ず 180° になる。

貴重な資料

印刷日：2023/10/23

分からぬことがあれば、そのときその場で質問しましょう！

実力テスト

いよいよ2年生後半(1月頃)からは実力テストと呼ばれる、中間テストや期末テストなどは異なるテストを受けるようになります。このテストは基礎的な能力に加えて応用・発展問題も出され、日頃の学校の授業と入試問題の傾向には大きなレベル差があります。成績に加味されないことが多いため、「成績に入らなければ、やらなくてよい」という子が結構いましたが、入試を受けるときにものすごく苦労するに至るので、実力テストの方もしっかりとテスト勉強を行いましょう。

印刷日：2023/10/23

今日学ぶ事項

- 平行線
- 三角形の内角と外角

証明で使う用語なので、角の名前や条件は覚えよう。

貴重な資料

印刷日：2023/10/23

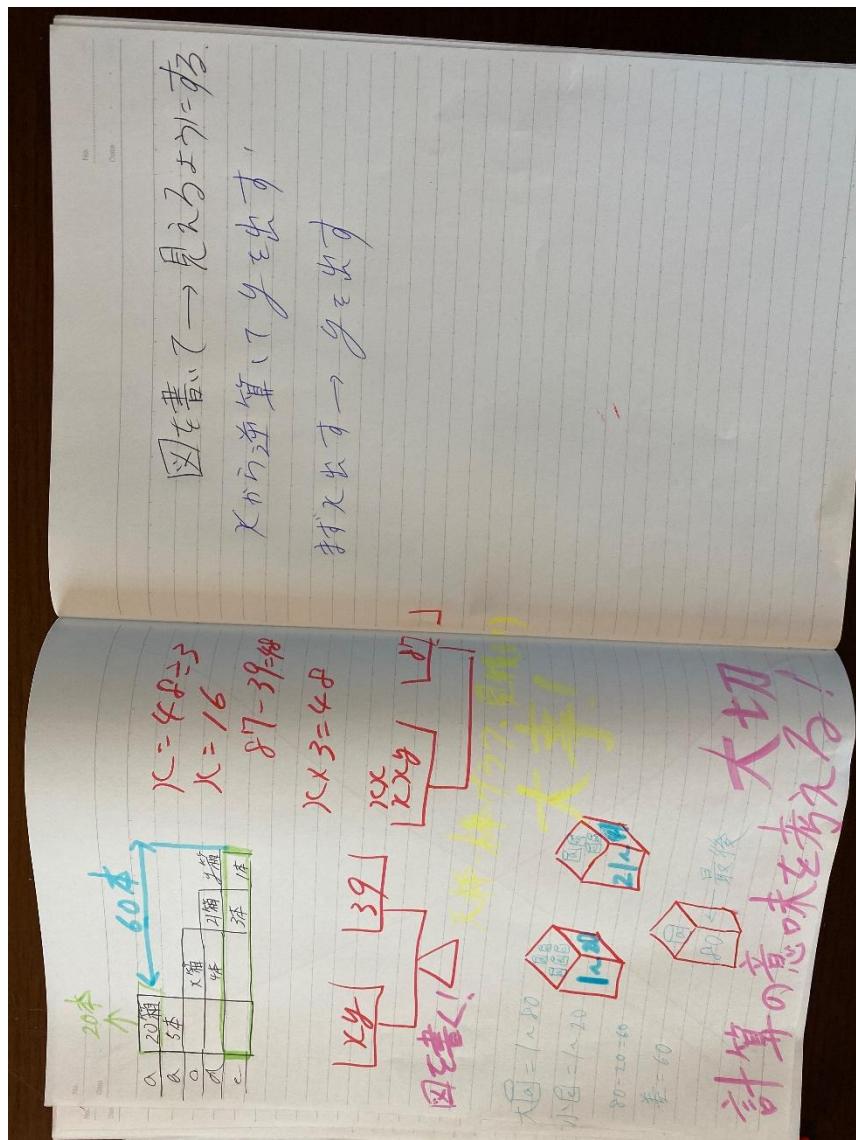
ポイントとなりそうなことはメモ書きしておきましょう。

ペーパーファスナーの場合は根元の部分を表面にする
と、新しい資料を後ろにとじていきます。

ホワイトボードのうつかた(写し方)

講師の説明は様々な考え方やコツが詰まっています。次の写真は優秀な生徒(受験算数に挑む小学生)のまとめ方の例です。このようにして、白板に書いてあることを写したり講師の説明を図や表などでまとめたりしましょう。色を上手に使うこと、ノートを大胆に使うことが大事です。

また、言われた内容もしっかり書き残し、後日見直しましょう。

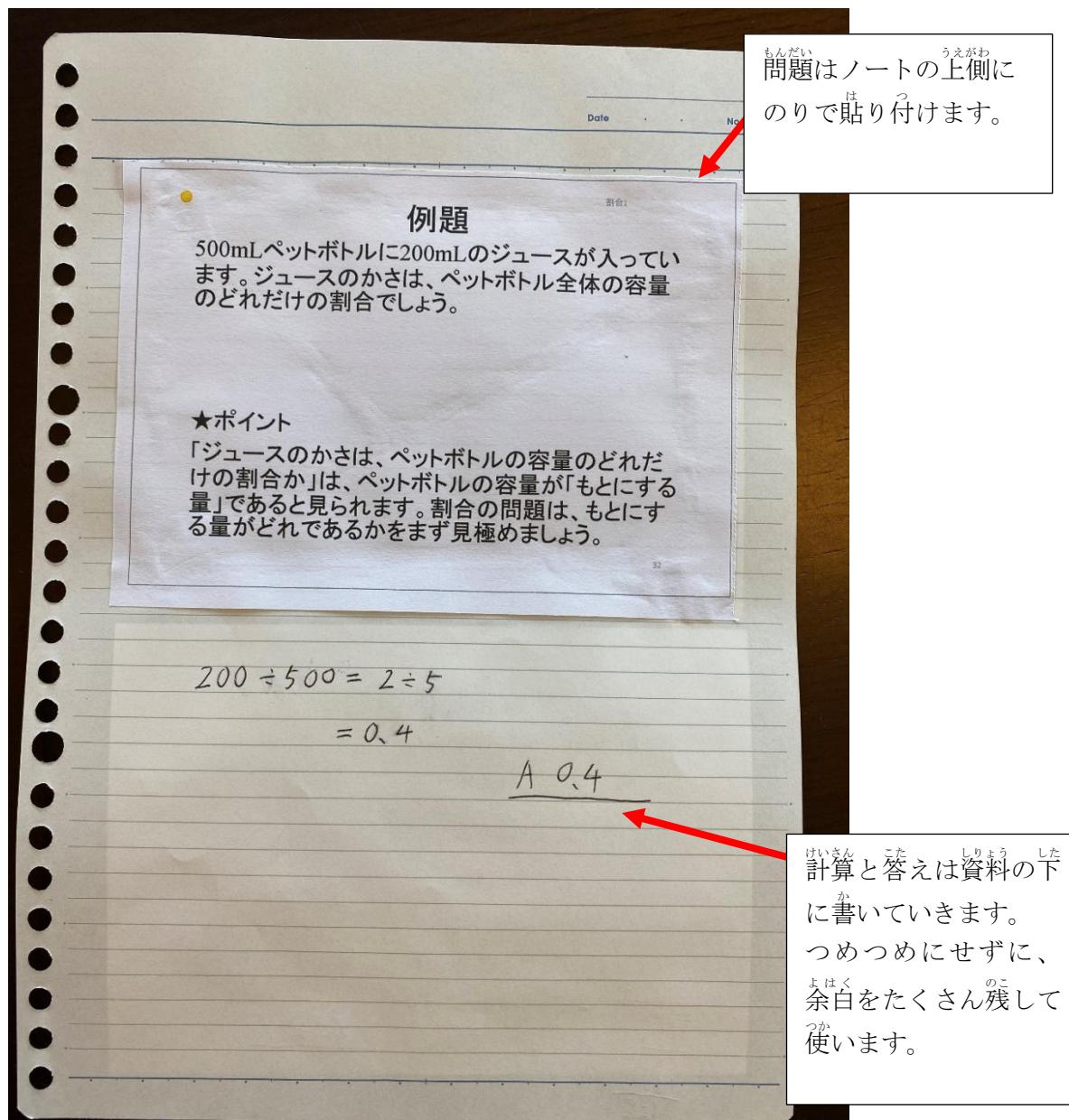


5. 練習ノートの作り方

練習ノートは練習問題を解くためのノートとして使います。左上に黄色の「●」がついている資料が練習ノート用の資料ですので、のりでノートに練習用の授業資料を貼り付けてから問題を解きます。ノートの使い方で習熟度も変わります。必ずこのようにしてノートを作りましょう。

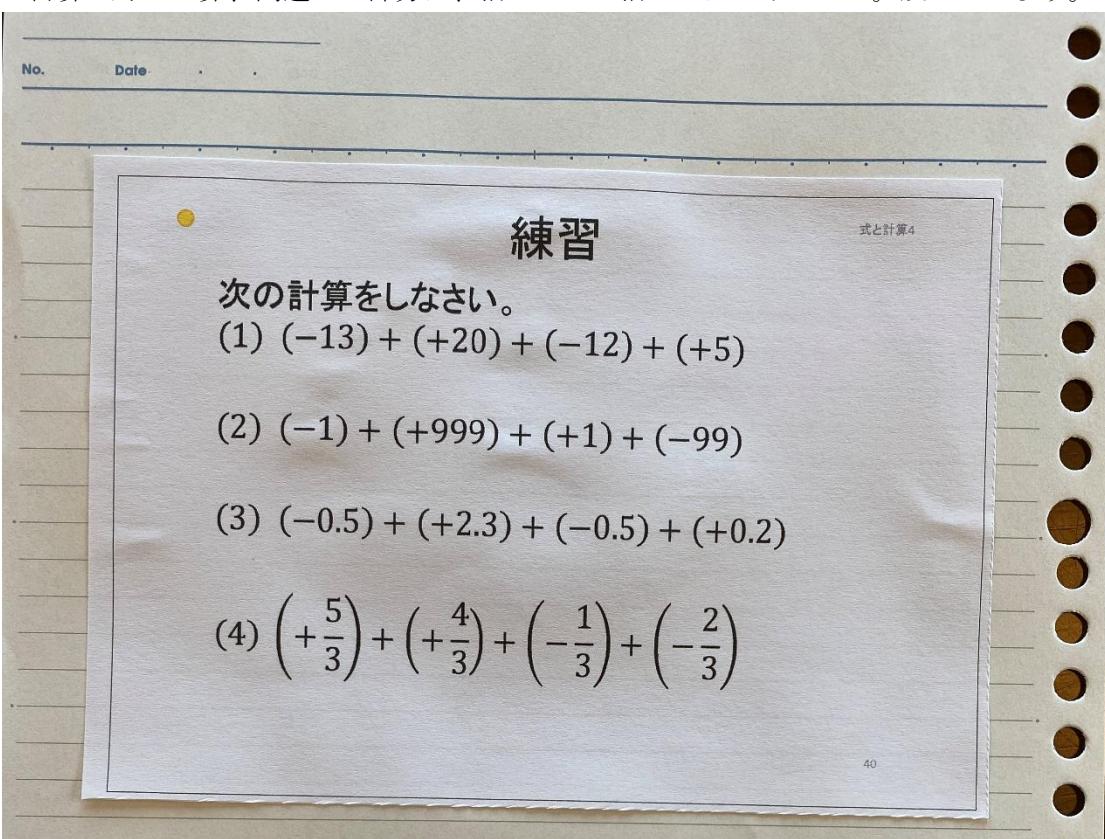
練習ノート例 1)

基本的には問題の授業資料を上に貼って、授業資料の下側で問題を解いていきます。



れんしゅう
練習ノート例2)

問題数が多いときは、次のように問題番号だけを写し取って計算していきましょう。
計算式やひつ算、間違えた部分は、消しゴムで消してはいけません。残しましょう。



$$(1) = (+25) + (-25)$$

$$(2) = \{+(999 - 99)\} + (-1)$$

$$(3) = (+2.5) + (-1)$$

$$(4) = \left(+\frac{9}{3}\right) + \left(-\frac{3}{3}\right)$$

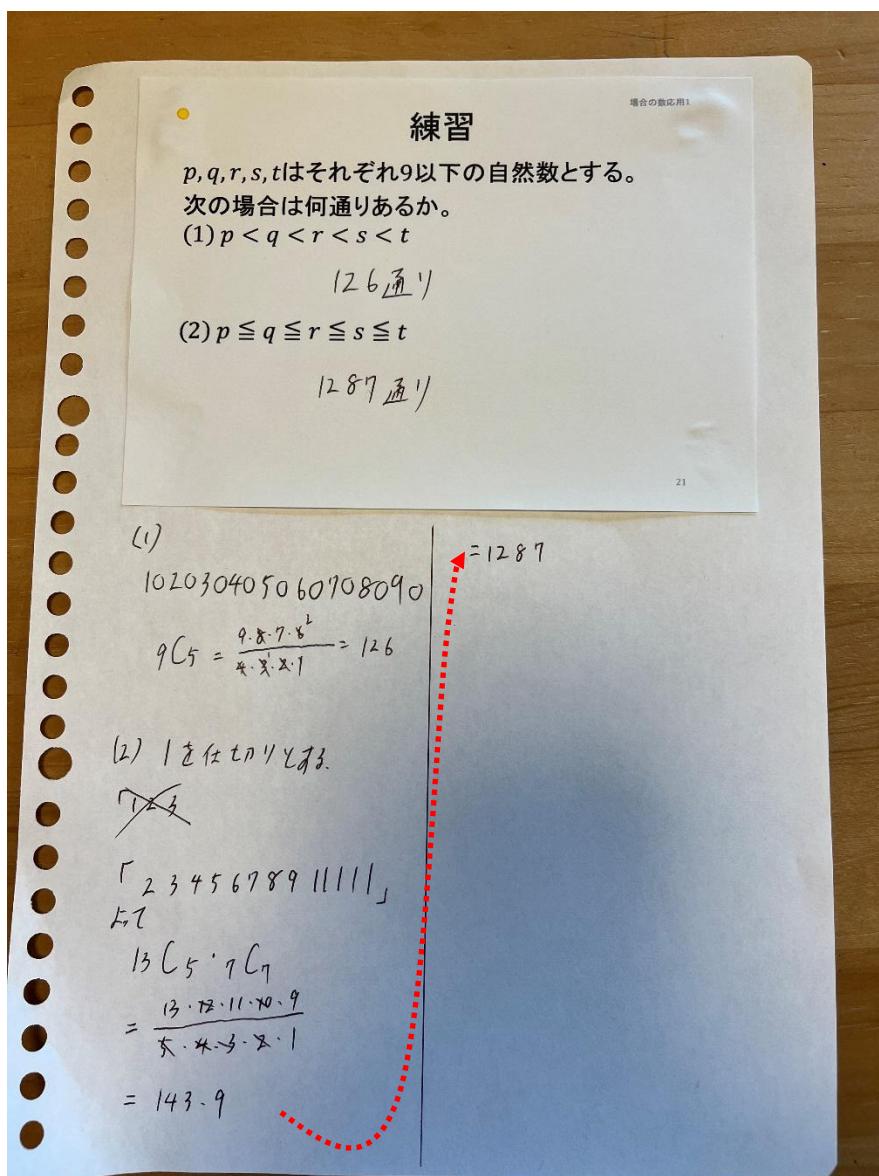
$$= (+3) + (-1)$$

$$= +2$$

問題番号のみを写し取って、式を書いて計算を行っています。
間違えたときは、消しゴムで消さずに余白でなおします。

れんしゅう
練習ノート例(3)

中学・高校レベルになると計算量が増えるため、段組み（紙の中央に縦線をひいて、記入できる箇所を2列に増やす）を活用するとよいでしょう。段組みを活用する場合のノートは、だとかなり計算できる余白が増えるのでA4サイズがおすすめです。



6. 宿題に関する心構え（効率的な学習に向けて）

- ・小学4年生から、ほとんどの授業で宿題を出します。
- ・前回の解説は、宿題をやるまえに必ず見直してください。
- ・宿題は、授業の日から早めに終わらせてください。遅くなるほど習熟は悪くなる上に時間がかかります。
- ・宿題は、発展問題や単語を除けば30分以上かかるほどの量を出すことは一部の単元を除きほとんどありません。しかし、内容をしっかりと習得するためには復習が必要です。よって、宿題をこなすにあたり少しでも解き方に不安を感じたり内容を忘れてしまったりしたときには、解説ノートから解き方をもう一度理解しなおしたうえでていねいに宿題を解くよう心がけてください。

7. 学校では

塾で習ったからといって学校の授業をサボってはいけません。授業はしっかり聞きましょう。学校では先に演習が終わるなどして待ち時間が出了としても、「他の生徒に教える」、「教科書を見直したり問題を通じて復習したりする」、「自分で問題を作ってみる」、「応用問題にチャレンジする」などして授業に参加してください。

なお、授業態度は学校の観点別評価の一部です。態度が消極的だといふらテストの点数がよくても成績はつきません。授業は塾・学校ともに積極的に受けてください。

8. その他の注意事項

- ・余った資料は家に持って帰ってください。
- ・少人数授業を受けている場合、練習問題を周囲の生徒よりも先に終えることもあると思います。先に終わった場合は、解説を見直して理解を深め、覚えるべきことを覚えるなどして有意義に時間を使ってください。